議会報告 瑞風

発行人 中林たかし
中林たかし事務所
雲南市加茂町神原 733-4
電兼FAX 49-6373

食の幸事業、中止へ

令和3年12月定例会が12月8日から22日まで15日間の会期で開会されました。定例会初日の8日、石飛市長は施政方針において「食の幸発信推進事業にかかる大規模なハード整備事業は実施しない」と表明しました。

①この事業は極めて商業的な事業、全国のこうした施設の約半分が赤字である。

②コロナにより観光に大きな影響が出ている。今後も「人流」の先行きが極めて不透明で事業リスクが高い。

③事業費が想定以上に増大した（当初7億円から現在11億円）。

④7月豪雨災害の復旧、復興を最優先するため財政的、人的余裕がない。

という理由により、苦渋の判断として中止決断の説明がありました。

ただし、ハード整備は見送るもののソフト事業を通して農業振興策は引き続き進めるとの考えが示されました。

ソフト事業として、魅力ある加工産品の創出や道の駅など既存施設を活用した産直販売等があげられています。

さくらの会、市長謝罪

令和元年9月定例会において紛糾した「さくらの会」を巡って急展開がありました。12月13日の一般質問において「2年前のさくらの会の質問に対する答弁において人権侵害があったのでは」との問いに石飛市長は「さくらの会の出張旅費の状況について報告を受けたところ、理事は自費で出張、公金の私的流用はなかった。ジェンダー平等の配慮に欠けていたと反省すべき点がある。心を痛められた方々へお詫びする。」と謝罪しました。

さくらの会の会長と理事の旅費問題に関し、一般論と断りつつ「当該理事の功績や能力に触れず、会長との婚姻関係のみをもって是非を論じるのは女性の社会進出を阻み、男女共同参画の形成を阻害するもの」と説明がありました。

叙勲おめでとうございます

元市長の速水雄一様、前議員の小林眞二様、堀江眞様、前議長の山﨑正幸様が秋の叙勲の栄に浴されました。誠におめでとうございます。

10万円給付始まる

先の衆議院選挙で、自公両党が公約として掲げていた子育て世帯への10万円給付（子育て世代への臨時特別給付金）が始まりました。

現金、クーポンと支給方法を巡り国会でも二転三転しましたが、雲南市では現金10万円一括支給することになり、12月27日から振り込みが始まります。

支給対象は、

①令和3年9月分児童手当支給対象者

②令和3年9月30日時点で高校生世代

③令和4年3月31日までに生まれた児童

手当支給対象者

です。①は12月27日に口座に振り込まれます。②と③は申請手続きが必要で収入等審査の上、振り込まれる予定となっています。なお、雲南市内の対象者は約5千3百人です。

年齢や収入等の制限があります。不明な点や詳細な事項については市役所市民環境部市民生活課（40-1031）にお問い合わせください。

一般質問の論点

12月定例会の主な論点として

①学校教育、不登校

②コロナ対策

③7月豪雨災害、復旧工事

④原発問題

⑤農林業対策、米価下落

⑥人口減少対策、定住対策

等でした。学校教育は学力問題や不登校、いじめなどのハラスメント等、多岐にわたる内容です。昨今、落ち着いているものの、コロナによる経済の停滞やワクチン接種への対応、7月豪雨対策も引き続きが取り上げられました。

原発問題は島根原発2号機が国の新規制基準への適応性審査に合格したことを受け、再稼働の是非判断や避難計画を問うたものです。松江市議会に続き雲南市議会も結論を出す時期が近づいています。

今年は米価が大幅に下落したこと、たたら焔米の認定率が下がったこと、7月豪雨災害がきっかけで離農されることがないよう農家への配慮、等農業問題についても目を引きました。

請願・陳情

☆現在審査中の請願・陳情

①米価下落対策

②きすきこども園工事入札手続の調査

☆今回提出された請願・陳情

①ジェンダー・人権の請願、陳情各1件

②原発再稼働関係の請願1件、陳情4件

下水道使用料、来春値上げへ

12月22日、定例会最終日に「下水道使用料の改定に伴う関係条例」議案が賛成多数で可決され、下水道使用料が引き上げられることになりました。令和4年4月使用分から約10％、令和5年4月使用分から約10％、合計で約20％の値上げとなります。

雲南市下水道事業に関する審議会に「下水道使用料の改定」が諮問されていたもので、審議会は令和4年4月から約20％の引き上げを答申していました。ただ、現下の経済情勢を勘案し2段階の引き上げとなりました。

改良後も狭い柳橋北詰

柳橋交差点は小中学生や高校生が通学に利用する交差点です。

多くの人と車両が行き来する交差点にも関わらず、柳橋北詰西側の歩道部分が狭隘で大変危険との指摘が以前からありました。地域要望を受けて国交省は本年11月、スペース拡大と車道と歩道の分離柵を設置する改良工事を行いました（写真）。

しかし、たまり場の面積はプラス3～4人程度、ガードレールではなく鉄柵の設置となりました。以前より多少はマシになった程度です。人の命には代えられません、抜本的な対策が必要です。

改良後も狭い柳橋北詰歩道

中林たかしの一般質問

今回は来年度予算と柳橋付近の安全対策、９月議会に続きキラキラ雲南（本文中はキラキラと略）を取り上げました。

来年度予算について

問　市長が優先する事業枠を10％増とする方針が示されているが具体的に何か。

答（市長）　人口減少対策を重点課題として取り組む。転出原因となっている住まいや結婚対策の強化、移住支援の強化に取り組む。

問　サッカー場整備の方向性が示されていない。検討状況、予算化の考えを伺う。

答（市長）　松江FCと協議しているが顕著な進展はない。サッカー場は市民の利用を前提にして整備、松江FCとは協力できる範囲を示しながら協議を重ねる。

問　老朽化したりイエローゾーンにある交流センターは整備が必要だ、計画を伺う。

答（政策企画部長）　交流センター施設整備計画に基づき優先度の高いものから順次整備を進める。具体的には来年度予算編成で明らかにする。

問　復旧工事の大半は土木で建築案件がない。バランスのとれた公共工事が必要では。

答（建設部長）　災害復旧工事と他の建設事業とのバランスをとって工事発注を行う。

キラキラ雲南について

問　総務省が定めた「三セク経営健全化指針」に基づき適正に管理されていたか。

答（教育部長）　公共的、公益的な事業に関し適切な関与に努めているところ。議会や住民に対して経営状況についてわかりやすい説明を行い、理解を得るよう心掛けていく。

問　９月議会で指摘した事項について監査を行ったか。

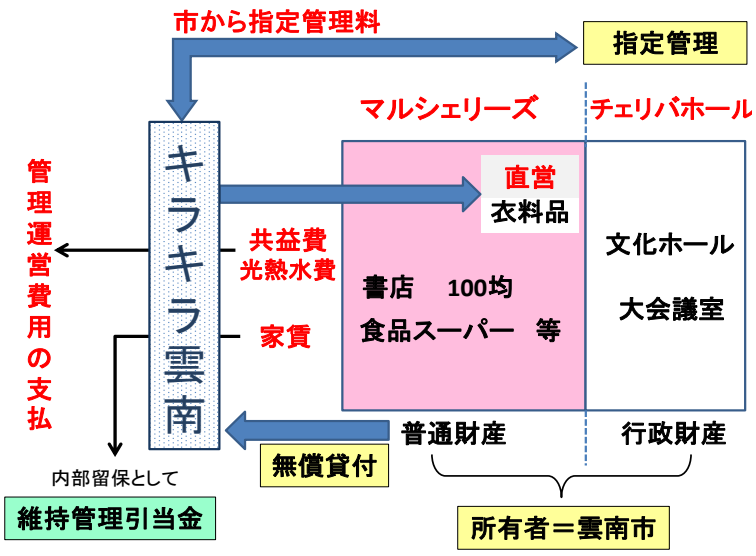
答（代表監査委員）　実施していない。

問　指摘したことには真摯に対応願いたい。キラキラの損益計算書で営業外収益として７千万円余計上されているが何か。

答（教育部長）　マルシェリーズ内のテナントの家賃と共益費、光熱水費等だ。

問　貸借対照表では維持管理引当金が92百万円計上されている。大規模修繕目的と推察されるが何の規定に従った処理か。

答（部長）　市とキラキラが締結している「普通財産貸付契約書（以下契約書）」に基づきマルシェリーズの修繕積立を行っているもの。今後５年間でエレベーター１基の改修を予定しており、この引当金で充当する。



市はキラキラにマルシェリーズを無償貸付を行っている
家賃はキラキラが収受するので内部留保として残る仕組

問　キラキラの定款では商業施設の管理運営となっている。キラキラが受け取ってよいのは共益費、光熱水費で、家賃までキラキラが受け取ってよいか。財産の無償貸付は議決されているが、議決を基に交わされた契約書にキラキラが家賃を収受してもよいとは何処にも記載がない。契約書の見直しも必要ではないか。

答（産業観光部長）　―８分中断後―
市は契約書に基づき普通財産であるマルシェリーズをキラキラに無償で貸し付けている。マルシェリーズから得られる家賃は貸付先であるキラキラが収受することになっている。会計処理等の問題は当初はないものと思っていたが、問題があれば改善を検討する。

問　三セク運営に関する指針は策定されているか。運営の「見える化」が必要では。

答（政策企画部長）　雲南市は合併後、行財政改革のひとつとして三セクの抜本的な改革を図るため平成17年に「三セク事業等マネジメント指針」を策定、市の財政関与の見直し、効率的な施設経営など５つの観点から経営評価を実施してきた。

問　ゴルフ場の後始末で策定した指針では十分と言えない。幹部職員の役員就任制限など総務省指針を基にガバナンスを意識した指針とすべき。キラキラの本当の問題は、指定管理料が適正に算定されていないこと、そして管理すべき公共施設が多いこと、それらを全部キラキラに押し付けていることではないか。

答（市長）　三セクは地域住民の暮らしを支える重要な役割を担い、地域活性化に寄与する公共的なサービス提供者だ。キラキラの現行の仕組みが最適かどうかは再考する必要がある。三セクが抱える課題を把握し、適切な情報開示に努める。

柳橋付近の安全対策について

問　柳橋交差点を利用する児童生徒が多くいるが北詰歩道が狭く危険だ。もう一段の対策が必要だ（前頁下段写真）。

答（建設部長）　ラメール入口から金丸団地入口までの約１キロ区間の安全対策を松江国道事務所に毎年要望している。今年は暫定的ではあるが、たまり場の拡張工事を行った。

問　柳橋交差点は見通しが悪いうえ複数の交差点が隣接する。加えて横断歩道の塗装がカスレて見えにくく危険、対策が必要だ。

答（建設部長）　現時点で見通しを改善する線形改良の計画はない。路面表示のカスレは松江国道事務所と現地確認し修繕してもらうよう調整する。

問　柳橋交差点は市内でも有数の交通量があり朝夕に渋滞が発生する。柳橋の複数車線化や歩道の確保等の抜本的な対策が必要だ。国・県に強く要望すべきだ。

答（建設部長）　柳橋の右折車線の付加については毎年要望を続けている。国道54号の４車線化、消防署前と柳橋交差点の改良を重点的に毎年要望している。

問　現在の国交大臣は島根県の出身。市長の上京時に斉藤大臣に強く要望すべきでは。

答（市長）　柳橋付近の安全対策、国道54号の４車線化、高速道路の４車線化を含め要望していく。

年末になり世界中でオミクロン株が急拡大してきました。どうか穏やかな正月、来年こそコロナ撲滅で皆様にとってよい年になりますよう祈念します。　（たかし）